

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4年	2	必修
担当教員			
松元 一明			

授業のねらい（概要）	演習では、「経営学研究法」、「経営学課題研究」を通して学修した、地域づくり・まちづくりの知識を深めることに合わせて、それらの知見を基に各自が設定したテーマに基づいて卒業論文をまとめていく。以上の学びを通じて、ディプロマポリシーに記載のある「大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢」を学生が身に着けることをねらいとしている。
授業計画	<p>「経営学研究法」「経営学課題研究」を通して得た、地域づくりやまちづくりなど、市民による公益的な活動の知識と実践知を通して、卒業研究、卒業論文執筆に準備にあたり、卒論のアウトラインの完成を目指す（後期の「経営学卒業研究Ⅱ」における卒業論文執筆のための準備を万全にする）。</p> <p>具体的には以下のことを進めていく。</p> <p>第1回～第4回「遠隔講義」</p> <p>(1) 卒業論文のテーマ設定（問い、主張、論拠を含む） (2) 卒業論文に関する研究計画書の作成 (3) 卒業論文のテーマに関する先行研究の文献収集と読解、先行研究の調査、分析 (4) 卒業論文のアウトラインの完成</p> <p>予習（時間）：卒業論文作成に関する文献読解、卒業論文のテーマに関する文献、資料の収集、レジュメ作成など。（60～120） 復習（時間）：卒業論文執筆に関する個別課題など。（60～180）</p> <p>卒業論文の中間発表、フィールドワークのために、夏季休暇中にゼミ合宿をおこなう（関東近郊、2泊、交通費10,000円以内、宿泊費20,000円以内）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（小学科）の1項目を意識した科目となっている。 4. 大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢 DP（経営学科）の1項目を意識した科目となっている。 2. 地域における経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力
到達目標	(1) 地域づくり、まちづくりといった市民による公益的な活動の実態を深く知ること (2) 地域づくり、まちづくりに実際に参加した経験を活かし、 (3) 以上の学びを通じて、「卒業論文」の下地をつくること
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出された課題については、修正などの記入の上返却する。
履修上の注意	地域やコミュニティ、まちづくりがテーマのゼミであるので、フィールドワークやボランティアを含む地域活動への参加が必須である。フィールドワークは上信電鉄沿線、関東圏への日帰り（費用は5,000円以内）を数回予定しているが、学生と相談の上、行き先を決定する。
成績評価の方法・基準	フィールドワークやイベント参加を含めた学修意欲（40%） 課題、レポートの提出（40%） 研究計画の立案と発表（20%）
教科書	新版 論文の教室 レポートから卒論まで 著者名：戸田山 和久 著 出版社：NHK出版 発行年：2012年 価格：1200円（税別）
参考書・教材	【参考書】資料やレジュメなどは適宜配布する。
備考	演習科目
教員との連絡方法	「Melly」ならびに「メール」（アドレスは授業内で周知）